※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	ワークプリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・視て感じる、感じて創ることを基本に踏まえるべき手段を経て徐々に個のものとなっていく過程を実感します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩・構成などについて着目して、感じ方や見方、表現を深めていきましょう。様々な表現や感じたことを共有すると、更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
（１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
（２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（３）主体的に美術の創造活動な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	表現の基礎となる技術や、デザインの考え方を習得し、様々な道具の扱いについても学び、適切な課題に適切な技術を用いることができるようにする。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表現できるようにする。	テーマや課題物について、イメージや考えを膨らませ、表現できる。感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練り、自己の価値観を高めて美術作品などの表現の工夫や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	私の取り扱い説明書	・自分自身を振り返り、文字で自分の「取り扱い説明書」を作る。 ・漫画表現を使い、ケント紙一枚に伝わりやすくまとめる。	a:　主題にあった表現を工夫している。造形の要素の働きを理解している。 造形的な特徴などを基に、漫画表現の違いなどを理解している。 自己の主題のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練り、創造的に表している。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:主体的に漫画の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	ワークシート	・アイデアスケッチ ・課題	・作品レポート ・ワークシート
	コンクール・展覧会に出品しよう	・固形透明水彩絵の具とアクリルガッシュ絵具の特性を学び、様々な技法を試す。 ・出品するコンクール・展覧会を選び、技法を用いて作品を制作する。	a:　造形の要素の働きを理解している。 造形的な特徴などを基にイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 b:技法・色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 絵具や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 c:主体的に絵画表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	アイデアスケッチ 作品	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	デザインで社会を動かそう	・生活に欠かせないデザインの効果や意味を学ぶ。 ・社会にある課題を挙げていき、その課題を解決するためのデザインを考える。 ・コンセプトを伝え、アピールするために造形的な要素に着目して構想を練り、レタリングなどメッセージを伝えるための効果的な手法を生かす。 ・B3 パネルにケント紙を水張りしたものに画材（自由）を用いて彩色する。	a: 主題にあった表現を工夫している。造形の要素の働きを理解している。 造形的なデザインの要素を基に、形や色彩などの働きを考えながら構想を練り、創造的に表している。 b:条件や素材などから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 絵具、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 c:主体的に平面デザインの創造的な諸活動に取り組もうとしている。	・立体作品	・アイデアスケッチ ・立体作品	・平面作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度